

産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

取組の概要

取組の概要 : 施設の集約及び選果能力の向上による効率的選果体制の整備
計画作成主体 : 真狩村地域農業再生協議会
対象品目 : アスパラガス (産地面積: 97.3ha)
主な取組主体 : ようてい農業協同組合、
成果目標 : 集出荷・加工コストの10%以上の削減
助成金の活用 : 生産支援事業 (選果機等)
状況

ポイント

選果施設を集約 (3カ所 1カ所) するとともに、等級別に選別可能な選果機の導入により選果能力の向上を図り、選果経費 (労務費) の12.3%以上の削減を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

現状: H27年度

作付面積: 100.6ha (出荷数量: 207.3t)
選果経費: 183.1円/kg

目標: H30年度

作付面積: 97.3ha (出荷数量: 200.4t)
選果経費: 160.5円/kg



推進体制

地域の関係者 (真狩村他8町村、ようてい農業協同組合、JAようていアスパラ生産組合、農業関係者等) が一体となり、事業を推進

地域における独自の取組

主な取組

生産組合が主体となり、収量・品質を確保するための新植マニュアルを作成し、生産者に普及するとともに、栽培技術の一層の向上に向けた研修会、講習会を開催。

事業効果

選果施設の集約化や選果能力の向上により、選果経費が削減される。これにより、集出荷コストが削減され、生産者の所得向上につながり、アスパラガスの産地強化を実現。

~ 集出荷コスト ~

